

科目名	ケガの手当 1							年度	2026
英語科目名	Medical treatment of the injury 1							学期	前期
学科・学年	柔道整復科 2年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	青木伊之、加藤健太、宮本功三、後藤晃弘、杉本知、秋田雄大、有山教士	教員の実務経験		有	実務経験の職種		柔道整復師(接骨院にて勤務経験あり)		
【科目の目的】 ・骨折・脱臼・軟部組織損傷の発生機序を理解できる。 ・骨折・脱臼・軟部組織損傷の症状を理解し整復、固定ができる。 ・骨折・脱臼・軟部組織損傷の後療法を行うことができる。									
【科目の概要】 軽症の応急手当についての知識を学びます。									
【到達目標】 解剖学の知識を持って外傷の発生から治癒に向かう過程のメカニズムをしっかりと把握することを到達目標とする。また、この授業を元に自学自習の精神や姿勢を身につける事も目標とする。									
【授業の注意点】 医療人としてのキャリア形成の観点から、授業中の私語や医療現場にふさわしくない受講態度、振る舞いなどには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時間数の4分の3以上出席しないものは定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	解剖学を深く理解し、患者に対して説明ができる	解剖学を理解している	解剖学の主要部分のみ理解している	解剖学を理解していない	解剖学を理解する姿勢がない				
到達目標 B	外傷の発生機序を深く理解し、患者に対して説明ができる	外傷の発生機序を理解している	外傷の発生機序の主要部分のみ理解している	外傷の発生機序を理解していない	外傷の発生機序を理解する姿勢がない				
到達目標 C	外傷の症状を深く理解し、患者に対して説明ができる	外傷の症状を理解している	外傷の症状の主要部分のみ理解している	外傷の症状を理解していない	外傷の症状を理解する姿勢がない				
到達目標 D	外傷の整復法を深く理解し、患者に対して説明ができる	外傷の整復法を理解している	外傷の整復法の主要部分のみ理解している	外傷の整復法を理解していない	外傷の整復法を理解する姿勢がない				
到達目標 E	外傷の固定法を深く理解し、患者に対して説明ができる	外傷の固定法を理解している	外傷の固定法の主要部分のみ理解している	外傷の固定法を理解していない	外傷の固定法を理解する姿勢がない				
【教科書】 教科書（柔道整復理論編一般社団法人全国柔道整復学校協会監修一）に準拠する。									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 試験と課題を総合的に評価する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		ケガの手当 1			年度	2026
英語表記		Medical treatment of the injury 1			学期	前期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	鎖骨骨折	鎖骨骨折を理解し処置ができるようになる	1 特徴	鎖骨骨折の特徴を理解している	3	
			2 発生機序	鎖骨骨折の発生機序を理解している		
			3 症状	鎖骨骨折の症状を理解している		
2	鎖骨骨折	鎖骨骨折を理解し処置ができるようになる	1 整復法	鎖骨骨折の整復法を理解している	3	
			2 固定法	鎖骨骨折の固定法を理解している		
			3 後療法	鎖骨骨折の後療法を理解している		
3	上腕骨外科頸骨折	上腕骨外科頸骨折を理解し処置ができるようになる	1 発生機序	上腕骨外科頸骨折の発生機序を理解している	3	
			2 整復法	上腕骨外科頸骨折の整復法を理解している		
			3 固定法	上腕骨外科頸骨折の固定法を理解している		
4	上腕骨骨幹部骨折	上腕骨骨幹部骨折を理解し処置ができるようになる	1 発生機序	上腕骨骨幹部骨折の発生機序を理解している	3	
			2 整復法	上腕骨骨幹部骨折の整復法を理解している		
			3 固定法	上腕骨骨幹部骨折の固定法を理解している		
5	コーレス骨折	コーレス骨折を理解し処置ができるようになる	1 特徴	コーレス骨折の特徴を理解している	3	
			2 発生機序	コーレス骨折の発生機序を理解している		
			3 症状	コーレス骨折の症状を理解している		
6	コーレス骨折	コーレス骨折を理解し処置ができるようになる	1 整復法	コーレス骨折の整復法を理解している	3	
			2 固定法	コーレス骨折の固定法を理解している		
			3 後療法	コーレス骨折の後療法を理解している		
7	総復習	鎖骨骨折と上腕骨外科頸骨折の理解を深める	1 鎖骨骨折	鎖骨骨折を理解している	3	
			2 上腕骨外科頸骨折	上腕骨外科頸骨折を理解している		
			3 解剖学	鎖骨と上腕骨の解剖学を理解している		
8	総復習	上腕骨骨幹部骨折とコーレス骨折の理解を深める	1 上腕骨骨幹部骨折	上腕骨骨幹部骨折を理解している	3	
			2 コーレス骨折	コーレス骨折を理解している		
			3 解剖学	上腕骨と橈骨の解剖学を理解している		
9	肋骨骨折	肋骨骨折を理解し処置ができるようになる	1 発生機序	肋骨骨折の発生機序を理解している	3	
			2 整復法	肋骨骨折の整復法を理解している		
			3 固定法	肋骨骨折の固定法を理解している		
10	第5中手骨頸部骨折	第5中手骨骨折を理解し処置ができるようになる	1 発生機序	第5中手骨骨折の発生機序を理解している	3	
			2 整復法	第5中手骨骨折の整復法を理解している		
			3 固定法	第5中手骨骨折の固定法を理解している		
11	肩鎖関節上方脱臼	肩鎖関節上方脱臼を理解し処置ができるようになる	1 発生機序	肩鎖関節上方脱臼の発生機序を理解している	3	
			2 整復法	肩鎖関節上方脱臼の整復法を理解している		
			3 固定法	肩鎖関節上方脱臼の固定法を理解している		
12	肩関節烏口下脱臼	肩関節烏口下脱臼を理解し処置ができるようになる	1 発生機序	肩関節烏口下脱臼の発生機序を理解している	3	
			2 整復法	肩関節烏口下脱臼の整復法を理解している		
			3 固定法	肩関節烏口下脱臼の固定法を理解している		
13	第2指PIP関節背側脱臼	第2指PIP関節上方脱臼を理解し処置ができるようになる	1 発生機序	第2指関節脱臼の発生機序を理解している	3	
			2 整復法	第2指関節脱臼の整復法を理解している		
			3 固定法	第2指関節脱臼の固定法を理解している		
14	総復習	肋骨骨折～第2指PIP関節背側脱臼の理解を深める	1 骨折	肋骨、第5中手骨の骨折を理解している	3	
			2 脱臼	鎖骨、上腕骨、中手骨の脱臼を理解している		
			3 解剖学	鎖骨、肋骨、中手骨の解剖学を理解している		
15	肘内障	肘内障を理解し処置ができるようになる	1 発生機序	肘内障の発生機序を理解している	3	
			2 整復法	肘内障の整復法を理解している		
			3 固定法	肘内障の固定法を理解している		

評価方法：1. 小テスト、45. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等